

今回は、関市高齢福祉課訪問の報告です。

◇ 保健師志望の3名の生徒が、関市の保健師さんのお話をうかがいました！

日 程： 2020年10月27日(火)

場 所： 関市役所高齢福祉課 参加者： 生徒3名、高齢福祉課4名

◇ 生徒の感想

■私は保健師の仕事を大まかには知っていたけれど、今回保健師の方に様々なお話を聞いて、私が思っていた以上に保健師の中でも多くの役割があり、仕事があるのだと知りました。

私は将来、予防のことに重点を置いて働きたいと思っています。保健師の方の話聞いて予防というのは、健康診断、予防接種の呼びかけだけでなく、今は高齢者の方が元気な方が多いので、退職したあとも元気に過ごせるようにサポートすることも大切なことだと知りました。

また、保健師として働いて楽しいこと、やりがいを感じたところ、人との関わりが増え、人のライフサイクルに関わることが出来る素晴らしい職業だと改めて知りました。

今回の経験から、私の理想とする保健師に将来なる事ができるように大学で様々なことを学びたいと思いました。 (3年 渡辺真子)

■今回は市役所に行き、保健師の方々に話を聞く機会を頂きました。

私は中学生の時に保健師さんが学校に来てくれたのがきっかけで、保健師という職業を知りました。今回、実際にお話を聞いて、保健所と保健センターの違いを聞いたり、保健師としての仕事内容など、本当だったら分からなかったような貴重な内容をたくさん聞いて、これからも頑張ろうと思うきっかけとなり、良かったです。

保健師は主役となる存在ではなく、患者さんが自力で生きていけるようにお手伝いをする仕事であり、人と人を繋ぐ存在だと言うことを知り、改めて保健師はとても良い仕事だなと感じました。患者さんの長い人生を支えていくので、患者さんの成長を見ることができたり、子供の患者さんが大人になってその子が自分の子供を産んだ時にまた再会することがあったりなどの喜びがあることを知り、素敵だなと思いました。いつでも相談にのれるように寄り添うことの大切さを学びました。

私たちが質問した事を丁寧に答えて下さって、とても勉強になりました。ありがとうございました。 (3年 石原伶名)

■関市役所の保健師の方に、保健師について話を聞きました。

特に保健師の方の「保健師は黒子」という言葉が印象に残りました。私は発達障がいをはじめとする様々な障がいのある子どもはもちろん、その家族も支援できるような保健師になりたいと考えています。専門的な機関への繋がりなどを作りつつ、壁にぶつかったら気軽に相談してもらえる、まさに黒子のような保健師は私の理想の保健師像だと思いました。

また保健所や保健センターの具体的な違いを教えてもらい、私は人と直接関わる機会の多い、市町村にある保健センターで働きたいと思いました。

私たちが疑問に思っていたことを質問するとそれぞれの専門の方が分かりやすく教えていただいたおかげで、より知識が深まりました。そして、改めて保健師の仕事の良さを感じ、保健師として働きたいと強く思いました。 (3年 打田愛子)

◇ 高齢福祉課課長さん、保健師のみなさんの感想

■今回の訪問を受けて、高校生が「保健師」という職業を知ってくれていたことが何よりう

れしかったです。市町村の保健師は個人だけでなく家族丸ごと、地域丸ごとにかかわる仕事でもありますし、10年・20年先の市民の健康を考えて施策を講じるプランナーでもあります。こんなにやりがいのある仕事はないと、保健師でもない私が思っています。

皆さんが、保健師として関市に戻って来てくれることを、わくわくしながら待っています！
(高齢福祉課長 森小百合)

■保健師の仕事の中でも、自分がやりたい事をしっかりと持っておられて、とても頼もしく思いました。人生で経験したこと全てを生かすことができる職業だと思います。今置かれた環境でできる様々な体験を大切に、目標に向かって頑張ってください。

(保健師 可児京子)

■保健師の仕事は目の前の支援対象者だけでなく、その家族や関係機関等、様々な人と関わることができる仕事です。仕事の幅は広いし、事務仕事も多いけど、それだけ保健師の役割は大きく、やりがいのある仕事だと思います。今回の話で楽しさややりがいを覚えてもらえたならうれしいです。

高校3年生で「保健師になりたい」と考えているだけでなく、「予防を重点に働きたい」「障がいを持つ子だけでなくその家族も支援したい」という考えを持っていることに驚きました。保健師として働くうえでとても大切な考えだと思います。その考えを大事にして素敵な保健師になってください。

(保健師 和田耕平)

■感想をありがとうございました。聞きたいことにちゃんと回答ができていたか心配していたのですが、感想を読ませていただき、イメージがついた、頑張りたいという感想が聞けて良かったです。また、保健師の仕事は単に健診業務や相談を行うだけでなく

- ・対象の方が自分自身で自分らしく健康的に暮らしていける力をつけていく支援
- ・あくまでも保健師は黒子であり、主人公は対象者の方とそれを支えていく環境の土台作りであることの「繋ぎ」の支援
- ・個をみて全体をみて、何年後かの結果を求めていく支援

など、保健師の魅力と感じている仕事の部分が少しでもお伝え出来たのかなと感じて嬉しかったです。具体的なお仕事についてはたくさんの業務があるため、時間が足りなかったかもしれませんが、今回の時間がまずは理想の保健師像を描くきっかけになれば良かったと思います。

今後、大学での学びをたくさん吸収しながら、自分がなりたい保健師像を描いていってもらうことは、就職をしてからも大きな力になると思います。

同じ保健師として仕事ができることを楽しみにお待ちしております。

(高齢福祉課 千葉さとみ)



当日の様子（関市役所にて）